

# 美幌町学校運営協議会だより

※美幌町ホームページ：教育委員会／小中学校からのお知らせで閲覧できます

令和5年2月22日発行

美幌町教育委員会：コムスク・コーディネーター

7

## 各学校が学校運営協議会を開催！

令和4年度の教育活動の評価と課題を協議

令和4年度も新型コロナウイルス感染拡大の中で、感染防止に取り組みつつ、学習に取り組んできました。

学校の教育活動に関しては、学校（教職員）による評価、児童生徒による評価とともに、家庭への評価（アンケート）依頼などをもとに目標が達成できたか、課題は何か、次年度に向けての方針や方策を学校運営協議会の皆さんが協議をしました。

1月17日（月） 美幌中学校 開催済み

1月19日（水） 美幌小学校 開催済み

2月20日（月） 北中学校 開催済み

### ＜3月に予定＞

3月 2日（木） 旭小学校 開催予定

3月上旬 東陽小学校 開催予定

これまで行われてきた協議会の中で、児童生徒の実態を踏まえた学校経営方針やランドデザインをもとに活動した結果を協議し、令和5年度への課題とした学校もあります。

- ① 自ら学ぶ力（意欲的、自主的）を育てる。
- ② 先生が教える教育から「子どもが学ぶ教育」（自立した学習）へ
- ③ 家庭の教育力を活かす（家庭学習習慣や生活習慣の見直し）
- ④ 地域の教育力（PTA/保護者）の活用 など
- ⑤ 部活動の在り方（部員減少や指導者の確保等の問題を合同チーム、拠点校方式などで子どもたちの活動の場を確保する）

### ◆変更したこと

#### ＜美幌中＞ 学校教育目標を改訂

新：「夢へのチャレンジ 切磋琢磨する生徒」  
3つの基本姿勢 「美の心」「本気の学び」  
「論より実践」

#### ＜美幌小＞ 保護者アンケートの変更

学校運営の見直しを図るため、保護者に個人として該当する項目を集約し、学校運営協議会で経営方針の妥当性について協議する。

美小版 SDGs 持続可能な学校体制への転換

これから3年間で全学年が単学級化に対応した学校体制への転換し、教育目標改訂への準備を進める

## 旭小 SDGs の取り組み紹介

夢よ育て！ 100年後の森は？

### 美幌の森の再生に協力

SDGs とは、（持続可能な開発目標）・改善する動きを長期間に渡って実施し続けることであり、旭小学校でも令和4年から役場の耕地林務グループと連携して、1年生が活動を始めました。

今年の取り組みは、以下の通りの一歩です。

- ① みどりの村に、種を取りに行く。・・・中止
- ② いただいた種を学校の中でプランターに植えて育てる。・・・現在、実施中です。

#### ◆＜池田校長先生の話＞

今年は、1年生だけしかできなかったけれど、令和5年度は、1年生は種を取りに、2年生は水やりなどで育てることを継続する。

⇒＜花壇にプランター置き場を作る＞

3・4年 苗が育ったら、植林に行く。

（育った苗は、買い取ってもらって活動費に充てる）

この活動を継続して美幌の森をつくる（再生）ように活動を継続したい。（SDGsです）

◆この活動は、100年後の森を想定しています

◆「この活動に子どもたちの保護者なども参加出来たら、素晴らしいなと思います。」と池田校長が話してくれました。

子どもも先生も関わる時間はわずかでも、この活動を継続していくなら森づくりに参加した人には“私もこの森を育てた一人”という実感がもてるでしょうね。



## 美幌町図書館

### 開館70周年記念講演会

◆演題：小説が教えてくれたこと

令和5年3月11日(土) 開演14:00～

美幌町民会館 中ホール

定員 200名 (整理券必要)

町民2月14日～26日

作家  
**桜木紫乃**

桜木紫乃さん  
北海道釧路市生まれ  
「ホテルローヤル」2013  
第149回直木賞受賞  
「家族じまい」2020  
第15回中央公論文芸賞  
を受賞しました。

聞き手  
**大津洋子**



◆美幌町の図書館が開館70周年を迎えるのを記念して、直木賞作家桜木紫乃さんをお迎えして町民会館で記念講演会が開かれます。

◆【聞き手】

桜木紫乃トークライブMC・フリーアナウンサー大津洋子さんがつとめます。

.....  
タンザニアの応援をしています(飯山尚子さん)

### 3つのきょういく応援団の飯山さん

### 図書館展示室で紹介 ～2月14日



タンザニアの現状・活動目的・学校に行きたい子を応援

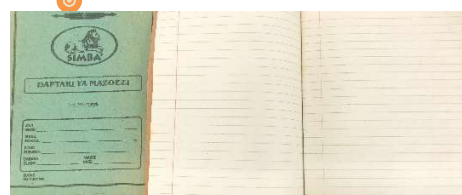


笑顔の少女



働く少年たち

## タンザニアの様子



タンザニアのノート



親指ピアノ



電気がなくても・・・ なければ作る 自転車も 上：パオバブの木



◆初めてのアフリカ

3つのきょういく応援団(タンザニアの紹介)に登録していただいている飯山尚さんが、図書館展示室でタンザニアの子どもたちの教育支援活動等の様子を紹介しました。大学生のころ初めてアフリカに渡ってから何度も繰り返して訪問しているということでした。日本の国内の学校でタンザニアのことを知ってもらうために出張講座もしています。笑顔を忘れず、自然とともに、助け合って暮らしているアフリカを知ることで、日本の良さも悪さも見えてくると思いますと記されていました。

「本当の豊かさ」とは???